



防ごう！高齢者虐待

☎ 高齢福祉課高齢者福祉係 (市役所 1階⑤番窓口 ☎23-3331 内線302・303・309)

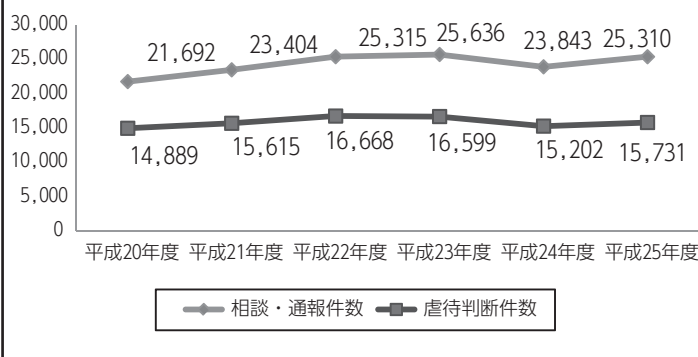
介護に関する悩み

ひとりで抱えていませんか

近年、少子化や核家族化などで、1人で在宅介護する方が増えていて、介護負担が大きくなって高齢者虐待に発展することが大きな問題になっています。

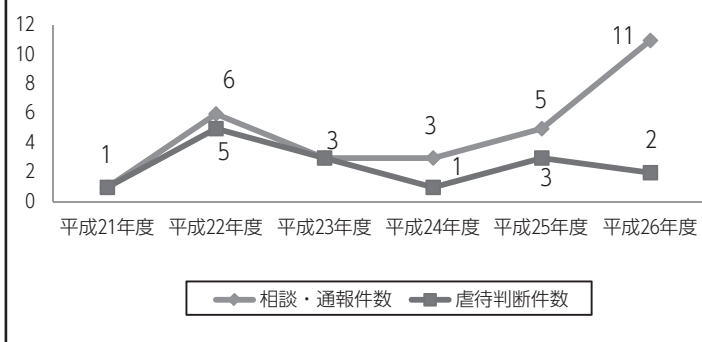
厚生労働省が平成25年度に行った調査では、高齢者が家族などから虐待を受けたと判断された事例が、約1万5千件にのぼっていて(図1参照)、虐待の発生要因で多いのは「介護疲れ・介護ストレス」が25%、「経済的な困窮」が22%になっています。

図1 養護者(家族など)による虐待(全国)



市でも虐待の相談や通報件数は年々増加していて(図2参照)、中でも認知症の高齢者を介護している家庭で虐待が多くみられます。

図2 養護者(家族など)による虐待(伊達市)



高齢者の介護は長期にわたることも多く、家族だけで頑張っても限界があります。虐待を未然に防ぐためにも、1人で介護の問題を抱え込まずに、介護保険サービスの利用や地域包括支援センターなどの相談機関を上手に活用しましょう。

高齢者の総合相談窓口

市地域包括支援センター

☎21-7755

●住所

松ヶ枝町59-4

(市社会福祉協議会内)

●開設時間

月～金曜日

午前8時45分～午後5時30分

※土・日曜日、祝日、年末年始は

お休みです



高齢者虐待対応マニュアル

第2版を作成しました

市では、平成19年度に高齢者虐待の未然防止や早期発見・早期対応を目的に、「高齢者虐待対応マニュアル」を作成しました。しかし相談件数の増加や認知症の高齢者の増加、老老介護などが原因で問題が複雑化・長期化するケースも増加しています。そこで、より迅速で適切な対応ができるようマニュアルを見直し、今年5月に第2版を作成して、市内の介護保険施設・事業所、医療機関などに配布しています。

また、市ホームページで詳細を公開していますので、ご覧ください。

青少年非行防止・健全育成広報

青少年指導センターだより ～地域の子どもは地域で守り育てよう～

〒市青少年指導センター (☎23-3331 内線511)



不審者情報メール
QRコード

子どもの事故や事件に 注意を

間もなく、子どもたちが楽しみにしている夏休み期間に入ります。

夏休み期間中は、校外で遊ぶ機会が増え、行動範囲も広がり、次のような事故や事件に巻き込まれる可能性が高まります。

地域で協力して、子どもを事故や事件から守りましょう。

自転車事故

夏は自転車に乗る機会が多くなります。

急な飛び出しやスマートフォンを使用しながらの「ながら運転」など、危険な運転が目立ち、事故も増えています。

自転車に乗るときは、交通ルールやマナーを守り、安全運転を心がけましょう。

不審者・不審電話

日が長くなり、外にいる時間が長くなる季節です。

1人で遊ばない、帰宅時間を守る、危険を感じたらその場から逃げるなどの行動がとれるように、常に話し合っておきましょう。

また、子どもが1人で留守番をするときは、知らない人の中に入れない、不審な電話がかかってきたとき

は、「わかりません」などと答え、すぐに電話を切るなど、自分の身を守ることにしても、話しておくことが大切です。

昨年度不審者発生状況

行為	件数	被害人数
声かけ・つきまとい	25件	39名
不審電話	2件	2名
痴漢行為	1件	1名
誘惑	2件	2名
暴力行為	1件	1名
その他	5件	9名
計	36件	54名

※その他はにらむ、凝視するなどの不審行動

インターネット被害

夏休み期間中は、自由な時間が増えるため、インターネットを利用する機会が増えることが予想され、交流サイトでの被害やトラブルの危険性が高まります。

子どものインターネット利用に関心を持ち、注意深く見守っていくことが大切です。

不良行為

学校生活から解放される夏休みは、気持ちが緩み、深夜徘徊や窃盗などの不良行為や非行が増える時期です。

子どもの安心・安全や非行防止のためにも、家庭や地域の「目」や「声」が必要になってきます。

青少年指導センターとは？

市が委嘱した34名の指導員が、少年の安心・安全の確保と非行防止のために活動しています。

巡回指導は、市内各地区で児童生徒の下校時に行っているほか、午前や夕方にも巡回行い、事故や事件の未然防止に努めています。

昨年度巡回指導回数

	巡回日数	従事人数
通常巡回	198日	552名
地区別巡回	119日	234名
特別巡回	17日	49名
計	334日	835名

※数字は延べ数

※特別巡回は祭典と有珠海水浴場の巡回

